

令和7年度 一般財団法人 飯田勤労者共済会 事業計画書

1 事業方針

当共済会は、創設以来 47 年目を迎えました。この間、飯伊地域の事業所で働く勤労者及び事業主に対する福利厚生事業を実施することで、中小企業の振興と地域社会の発展に寄与してまいりました。

コロナ禍が明け各種イベント、レジャーやインバウンド等への需要が高まっており、地域経済は緩やかに回復傾向にある一方で、近年は燃料や原材料、食料品など物価高騰の波が続いています。国や県は賃金上昇に向け働きかけをしていますが、産業界の人材不足の課題もあり、経済見通し全体の不透明感は拭えません。このような時こそ、少しでも家計や健康、余暇活動の助けとなる福利厚生・共済事業が望まれます。令和7年度は事業者や会員のニーズに応えた、会員の満足度アップにより一層つながる魅力ある福利厚生サービスを提供してまいります。

また、法人として安定した経営基盤を強化していくためには、とりわけ会員の確保が重要となることから、会員 14,000 人台を目標に加入促進を進めるとともに、経費の削減等に留意し健全経営に努めます。

2 会員への主なサービス事業

(1) 生活安定事業

各種祝金・見舞金及び慰労金など給付事業を実施します。また、会員に喜ばれる給付事業とするため、既存事業の見直しを随時行います。

(2) 健康維持増進事業

会員の健康の維持増進を図るため、健康管理給付、インフルエンザ予防接種や人間ドック等受診費用の助成、健康イベント参加助成及び健康増進施設の利用助成を実施するとともに、既存のスポーツ大会開催に加え新たな交流事業として「ニュースポーツ大会」を実施します。

(3) 自己啓発・余暇活動事業

教養の向上や技術習得を図るとともに、充実した余暇時間を過ごし、リフレッシュ等を図るための事業を実施します。

ア スポーツ観戦事業

各種スポーツ観戦助成を、家族も含めた分かり易く利用しやすい助成となるよう、内容を見直し会員のニーズに広く対応します。

イ 自主企画事業

「交通安全教室」、「美食ディナー」、「健康教室」、「そば打ち体験教室」、「酒蔵見学と地酒の呑み比べ」などの好評をいただいている事業を継続開催するとともに、新たに「正月飾り作り」など会員ニーズに基づいた事業を実施します。

ウ 入場券などの各種チケットの購入助成及び自己啓発助成事業

「オケ友」、「人形劇フェスタ」をはじめ「各種イベント参加チケット」については助成を継続、アクアパークをはじめとした「テーマパーク等の利用券助成」や好評をいただいている「スポーツ観戦助成」、「芸術鑑賞助成」は利用対象者等の拡充・

見直しを行います。

また令和6年度単年度事業であった「北陸4県応援宿泊助成（単年度）」に代わり、「大阪・関西万博の観覧助成（単年度）」を実施します。各種資格取得に関する受験料や各種講座の受講料は引き続き一部を助成し、会員の能力開発の支援を行います。

(4) 生活設計事業

各産業分野における人手不足に対応し、U・Iターンにより会員事業所に就職した場合に、引越し等に要した経費の一部を引き続き助成します。また、会員の人生設計に関する知識やスキル向上のために「定年準備セミナー」「マナーリテラシー向上講座」を開催します。

(5) その他事業

ア DX化時代に向けて、スマートフォンやホームページを活用した会員への有益な最新情報を

提供し、利便性の向上及び業務の効率化を図ります。

イ 「共済会だより」の発行回数は昨年度同様7回とし、引き続きオールカラーで見やすく、また多くの会員に興味をもって読んでいただけるよう内容の充実を図ってまいります。

ウ 事業の案内及び助成金の内容を中心とした「事業案内」を作成、年度当初に事業所単位で配布します。会員の皆様により分かり易く、利用し易くなるよう、今年度からオールカラーで作成します。

3 加入促進に関する事業

長期的な経営安定を目指し、新規会員獲得と既存会員の退会防止に一層努めます。

(1) 新規会員の加入促進

- ・共済会の認知度を高め、新規加入事業所を増やすため、幅広いマスメディアを活用して継続した広報・広告を行います。昨今の事情を勘案し、YouTube広告をはじめ、広報効果の大きい媒体を選択し実施します。
- ・会員等からの未加入事業所の紹介による加入推進強化を図り、入会時の事業所に対する特典サービスを継続して行うことで会員数の拡大に努めます。特に、8月から10月までを加入推進強化月間として取り組みます。

(2) 既存会員事業所等への働きかけ

既存会員事業所への情報提供を積極的に行い、事業所退会防止に努めます。